
アニメを見てて思ったこと 1

元号四年

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アニメを見てて思ったこと 1

【コード】

N0169T

【作者名】

元号四年

【あらすじ】

アンパンマンについての疑問です。意見とかもろもろお待ちします。

先日押入れの奥から大量のビデオが出てきたので、それを見ていて思ったことを書きます。

まず、アンパンマン。アレがどういう原理で飛んでいるのかは触れないことにします。それよりも重要なのは、バタ子さんの異常な腕力です。

アンパンマンの顔は大きさに普通のアンパンの百倍以上の体積があると考えられます。アンパン一個が二百グラムと仮定したとき、アンパンマンの顔はその百倍である二万グラム、つまり二十キロ相当であると考えられます。

陸上競技で使われる砲丸は、男性用のが16ポンド(7.260キロ)ですが、その三倍近い重さです。

それをあの女性は普通に持ち上げ、まるでスーパーボールを投げるかのように軽く投げます。しかも狙いは完璧。メジャーリーガーも真つ青の制球力です。

更に、あの女性はあんな不安定な車(?)から遠く離れたアンパンマンの汚れた顔を狙って剛速球を投げます。おそらく、あの人は超大型のエンジンが積まれているか、学園都市第一位の一方通行と同じレベルの能力を持っていることでしょう。そうでなければ説明が付きません。このネタが分からない人は、wikiで「とある魔術の禁書目録」を調べてください。

総重量二十キロを超えるアンパンマンの顔を済ました顔で投げ飛ばすバタ子さん。あの人がK-1に出たら、セーム・シユルトも青ざめるでしょう。

まあそれはさておき。

今回はアンパンマンについて語ってみました。今回はポケモンについて語ってみようと思います。本当は「チーズが二足歩行しす

ぎだろ」「とか「ジャムおじさんのパン工房ってどうやって生計立ててるんだ?」「とか、疑問は尽きません。けど、突っこみすぎると思わぬ核心に触れることもあるのでアンパンマンについての言及はここまでにします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0169t/>

アニメを見てて思ったこと 1

2011年10月9日01時35分発行